

呼吸音センサⅡ

【禁忌・禁止】

1. 併用医療機器

- (1) 高気圧酸素治療装置内での使用[爆発または火災を起こすことがある。]
- (2) 磁気共鳴画像診断装置(MRI)との併用[誘導起電力により局所的な発熱で患者が熱傷を負うことがある。]
- (3) 可燃性麻酔ガスあるいは高濃度酸素の雰囲気内での使用[爆発または火災を起こすことがある。]

【形状・構造及び原理等】

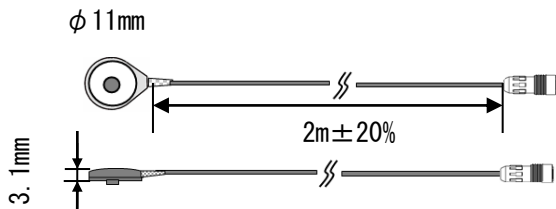
1. 概要

本呼吸音センサは、当社製の多用途測定記録装置等と接続し、被検者の喉、口、鼻等の付近に装着して、マイクロフォンにより睡眠中の呼吸音(いびき)を検出して生体電気信号として出力するセンサである。

2. 外観



3. 形状及び寸法



4. 作動原理

被検者の喉、口、鼻等の付近に装着し、マイクロフォンにより呼吸音(いびき)を検出して生体電気信号として出力します。

5. 品番

No.	品 名	品 番
1	呼吸音センサⅡ	MP-C032

【使用目的又は効果】

本呼吸音センサは、被検者の喉、口、鼻等の体表面に装着して、マイクロフォンにより睡眠中の呼吸音(いびき)を検出するためのものです。

【使用方法等】

1. 使用前の準備

- (1) マイクロフォン部分を被検者の喉、口、鼻、等の付近に装着して、サージカルテープ等を使ってセンサ台座部分を固定します。
- (2) プラグを当社製の多用途測定記録装置等に接続します。

2. 使用

- (1) 多用途測定記録装置等の電源を ON にし、装置の使用方法に従って呼吸音を導出します。
- (2) 測定を終了するときは装置の電源を OFF にし、装置から外します。
- (3) 被検者から本センサを外します。

【使用上の注意】

1. 取扱いの注意

- ・センサ部分を折り曲げたり、衝撃を与えないでください。
- ・本品は、薬液や水に触れないようにし、濡れた状態では使用しないでください。
- ・サージカルテープ等により皮膚炎症などを起こした場合には、使用をただちに止めて医師に相談してください。
- ・プラグは生体アンプの入力端子にしっかり接続してください。
- ・本品を装置から外す時は、プラグ部を持って静かに引き抜き、リード線を強く引っ張らないでください。
- ・しばらく使用しなかった本品を再使用するときは、使用前に必ず本品が正常かつ安全に作動することを確認してください。

【保管方法及び有効期間等】

- ・水分、気圧、風通し、日光、ほこり、塩分、硫黄分などの影響を受ける恐れのない場所に保管してください。
- ・化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に保管しないでください。

【保守・点検に係る事項】

1. 清掃

- (1) センサに付着した汚れは、乾燥した綿、堅く絞った酒精綿などで拭き取る。
- (2) 清拭後は乾燥していることを確認して使用すること。
- (3) センサを水などに浸けたり、洗い流したりすることは絶対に避けること。
- (4) プラグ部は水が掛からないように注意すること。
- (5) 本品を清掃するときは、ブラシ等のいかなる物理的圧力を加えないこと。

*【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

名称：株式会社ミュキ技研

TEL：03-3818-8631(代表)

FAX：03-3818-8632(代表)

製造業者

名称：株式会社ミュキ技研